

観光地域づくり法人形成・確立計画

1. 観光地域づくり法人の組織

申請区分 ※該当するものを○ で囲むこと	広域連携DMO(地域連携DMO) 地域DMO	
観光地域づくり法人 の名称	一般社団法人瀬戸内海島めぐり協会	
マーケティング・マネ ジメント対象とする 区域	区域を構成する地方公共団体名 【 兵庫県 】 姫路市、明石市、洲本市、南あわじ市、淡路市、	
所在地	兵庫県淡路市浅野南 1 5 6 番地 1 0	
設立時期	平成 27 年 10 月 15 日	
職員数	4 人【常勤 1 人（正職員 1 人・出向等 3 人）、非常勤 0 人】	
代表者（トップ人材： 法人の取組について 対外的に最終的に責 任を負う者） ※必ず記入すること	(氏名) 吉村 静穂 (出身組織名) 株式会社ジェノバ 創業者	株式会社ジェノバ創業者。長年に渡り代表取締役会 長・社長として陣頭指揮をとり、株式会社淡路ジェ ノバラインの社長も兼務されていた。地元淡路島の 発展に尽力されその功績が認められ 2020 年 6 月に 紺綬褒章を受章。経済界等にも幅広い人脈を有す る。
データ収集・分析等の 専門人材（CMO：チ ーフ・マーケティン グ・オフィサー ※必ず記入すること	(氏名) 堀内 勝彦 「専従」 (出身組織名)	経済界に幅広い人脈を有し、地域の様々なパイプ役 として代表者の参謀として日々奔走している。
財務責任者 (CFO：チーフ・フ ィナンシャル・オフィ サー) ※必ず記入すること	(氏名) 絹川 敏浩 (出身組織名) 株式会社ジェノバ取締 役管理部長	事務方として、業務を行っている。
各部門（例：プロモー ション）の責任者（専 門人材） ※各部門責任者のう ち専従の者について は、氏名の右横に「専 従」と記入すること	(氏名) 清水 道 (出身組織名) 株式会社ジェノバ代表 取締役社長	株式会社ジェノバ代表取締役社長及び株式会社淡 路ジェノバライン代表取締役社長も兼務。創業者吉 村静穂氏の後継者として日々奔走している。 経済界に幅広い人脈を有する。
各部門（例：旅行商品 の造成・販売）の責任 者（専門人材）	絹川 敏浩 (出身組織名) 株式会社ジェノバ取締 役管理部長	事務方として、業務を行っている。

(別添) 様式 1

<p>連携する地方公共団体の担当部署名及び役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 兵庫県産業労働部観光交流課(自治体調整窓口、マーケティング、地域公共交通、観光地域づくり) ・ 姫路市観光交流局シティプロモーション推進課 (受入体制整備、地域公共交通) ・ 明石市産業振興部産業政策課 (受入体制整備、地域公共交通) ・ 淡路市産業振興部商工観光課(受入体制整備、地域公共交通) ・ 洲本市企画情報部商工観光課(受入体制整備、地域公共交通) ・ 南あわじ市農商部商工観光課(受入体制整備、地域公共交通) 										
<p>連携する事業者名及び役割</p>	<p>一般社団法人淡路島観光協会 (株)淡路ジェノバライン ツネイシクラフト&ファシリティーズ(株) ジョイポート南淡路(株) (株)ほくだん</p>										
<p>官民・産業間・地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み</p>	<ol style="list-style-type: none"> ① 交通・宿泊・観光等の幅広い民間事業者が理事として参画し、法人の経営方針等の意思決定に関与する他、自治体の長が法人の顧問として参画する。 ② 法人に設置したテーマ毎の部会に、プレイヤーとしての民間事業者が参画し、事業推進を図る。 ③ 旅行者の海上輸送体制を確立するための「航路協議会」を設置し、地方自治体と関係団体が参画する。 										
<p>地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組</p>	<p>定期的に住民参加型のワークショップを開催するほか、地域住民への啓発を目的としたシンポジウムを開催する。</p>										
<p>法人のこれまでの活動実績</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">(活動の概要)</th> </tr> <tr> <th style="width: 30%;">事業</th> <th>実施概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>情報発信・プロモーション</td> <td>・ 25 年 2 月に瀬戸内海 7 県の議員代表と自治体関係者による「瀬戸内海フォーラム」が開催され、淡路島と瀬戸内海の観光活性化を目的とする協会を発足契機となった。</td> </tr> <tr> <td>受入環境の整備</td> <td>・ 同年 7 月～9 月には兵庫県・淡路島観光協会の委託で淡路島一周島めぐり、但馬海岸ジオパークめぐりを実施。翌 26 年に淡路島一周島めぐりを実施。</td> </tr> <tr> <td>観光資源の磨き上げ</td> <td>・ 平成 27 年 10 月に当社団が設立。 28 年 4 月瀬戸内国際芸術祭、大阪湾クルーズ、7-9 月淡路島一周島めぐりを実施。 平成 29 年を除き、令和元年までは島めぐりを実施して定着化していた矢先コロナ禍の影響を受けた。</td> </tr> </tbody> </table>	(活動の概要)		事業	実施概要	情報発信・プロモーション	・ 25 年 2 月に瀬戸内海 7 県の議員代表と自治体関係者による「瀬戸内海フォーラム」が開催され、淡路島と瀬戸内海の観光活性化を目的とする協会を発足契機となった。	受入環境の整備	・ 同年 7 月～9 月には兵庫県・淡路島観光協会の委託で淡路島一周島めぐり、但馬海岸ジオパークめぐりを実施。翌 26 年に淡路島一周島めぐりを実施。	観光資源の磨き上げ	・ 平成 27 年 10 月に当社団が設立。 28 年 4 月瀬戸内国際芸術祭、大阪湾クルーズ、7-9 月淡路島一周島めぐりを実施。 平成 29 年を除き、令和元年までは島めぐりを実施して定着化していた矢先コロナ禍の影響を受けた。
(活動の概要)											
事業	実施概要										
情報発信・プロモーション	・ 25 年 2 月に瀬戸内海 7 県の議員代表と自治体関係者による「瀬戸内海フォーラム」が開催され、淡路島と瀬戸内海の観光活性化を目的とする協会を発足契機となった。										
受入環境の整備	・ 同年 7 月～9 月には兵庫県・淡路島観光協会の委託で淡路島一周島めぐり、但馬海岸ジオパークめぐりを実施。翌 26 年に淡路島一周島めぐりを実施。										
観光資源の磨き上げ	・ 平成 27 年 10 月に当社団が設立。 28 年 4 月瀬戸内国際芸術祭、大阪湾クルーズ、7-9 月淡路島一周島めぐりを実施。 平成 29 年を除き、令和元年までは島めぐりを実施して定着化していた矢先コロナ禍の影響を受けた。										

(別添) 様式 1

	<p>(定量的な評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 関西空港から海上輸送による兵庫県内(淡路島)への訪日外国人客の誘致 H29年度:1,000人、H30年度:5,000人 ● 船旅による東瀬戸内海旅行者数 H29年度:実施できず、H30年度:500人、R元年:1,200人
<p>実施体制 ※地域の関係者との連携体制及び地域における合意形成の仕組みが分かる図表等を必ず記入すること(別添可)。</p>	<p>(実施体制の概要)</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 運営主体:一般社団法人 瀬戸内海島めぐり協会がDMO運営の実施主体となる。DMOの運営に当たっては、協会の総会・理事会で経営方針決定を行い、加盟の民間事業者がプレイヤーとしてビジネス展開する。 ② 部会の設置:事業のテーマ毎に部会を設置し、事業戦略を策定・展開する。 ③ 自治体との連携:自治体との連絡調整会議を設置し、自治体の観光政策、受入環境整備との連絡調整を図る。 <p>(実施体制図)</p>

2. 観光地域づくり法人がマーケティング・マネジメントする区域



(別添) 様式 1

【区域設定の考え方】

関西空港の訪日外国人観光客の兵庫県内(淡路島)への海上輸送を計画しており、また同航路の定着を図った上で、兵庫県内の姫路、近隣の徳島県、香川県等への海上輸送に取り組む予定である。また明石港を拠点として、大阪湾・播磨灘を航路とする船旅を企画・実施していることから、海域を含むこれらの地域を設定区域とすることが適切である。

【観光客の実態等】

2018年には、関西国際空港の外国人入国者数が765万人となり、大阪府の外国人延べ宿泊者数も3,576万人となっている。兵庫県内への外国人延べ宿泊者数も増加傾向にはあるが、淡路島への外国旅行者の絶対数は低い状態となっている。

【表1】 府県別外国人延べ宿泊者数 (出典: 宿泊旅行統計調査 2018年)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
大阪府	9,338,480	10,008,830	11,706,910	35,762,430
兵庫県	1,192,280	1,119,760	1,199,930	12,466,340
和歌山県	433,600	557,350	521,540	4,892,910
徳島県	57,680	69,450	96,870	2,205,900
香川県	222,630	358,360	453,460	3,989,300

【表2】 訪日外国人の府県別観光目的入込客数 (出典: 全国観光入込客統計 2018年) (単位: 千人回)

	宿泊	日帰り
大阪府	未導入	未導入
兵庫県	集計中	集計中
和歌山県	565	3
徳島県	48	82
香川県	224	15

【表3】 訪日外国人の府県別観光目的消費額 (出典: 全国観光入込客統計 2018年) (単位: 百万円)

	宿泊	日帰り
大阪府	未導入	未導入
兵庫県	集計中	集計中
和歌山県	13,240	14
徳島県	1,317	456
香川県	11,093	63

(別添) 様式 1

【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】

① 区域内観光資源

エリア		主な観光資源
兵庫県	姫路市	姫路城・好古園、書写山円教寺、家島諸島、
	淡路島	人形浄瑠璃、渦潮、明石海峡公園、洲本温泉、北淡震災記念公園、あわじ花さじき、伊弉諾神宮、淡路夢舞台、淡路牛、西海岸「和歌の道」、たまねぎ
	明石	明石海峡大橋・大蔵海岸、明石公園・明石城、魚の棚、明石鯛、明石焼

② 隣接地域観光資源

エリア		主な観光資源
兵庫県	神戸	神戸港、六甲山、北野異人館群、神戸ビーフ、
大阪府		USJ、大阪城、通天閣、海遊館、
和歌山県		和歌山城、和歌の浦、和歌山マリーナシティ、
徳島県		阿波踊り、渦潮、大塚国際美術館、大歩危・小歩危、奥祖谷
香川県		小豆島寒霞溪、高松城・玉藻公園、屋島、金毘羅宮、讃岐うどん

【宿泊施設：域内分布、施設数、収容力、施設規模等】

区域内宿泊施設 ※各市、平成29年3月度衛生行政報告。

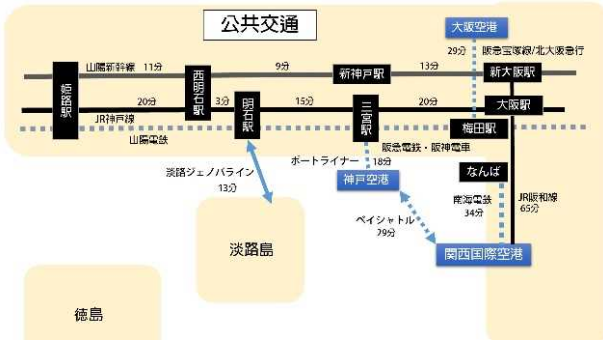
自治体	ホテル		旅館		民宿等	
	施設数	客室数	施設数	客室数	施設数	客室数
姫路市	60	4,321	54	821	31	202
明石	22	1,274	10	153	2	31
淡路市	6	381	53	550	47	170
洲本市	14	537	42	937	38	151
南あわじ市	8	562	50	654	28	125
計	110	7,075	209	3,115	146	679

① 隣接地域宿泊施設 (出典:平成28年度厚生労働省衛生行政報告)

内訳	ホテル		旅館	
府県	施設数	客室数	施設数	客室数
大阪府	387	集計中	750	集計中
兵庫県	423	集計中	1,151	集計中
和歌山県	98	集計中	599	集計中
徳島県	41	集計中	556	集計中
香川県	132	集計中	287	集計中

【利便性：区域までの交通、域内交通】

1. 区域までの交通



① 域内への所要時間

地域	交通機関	発地⇒(手段・時間)⇒(経由地)⇒到着地
姫路市	鉄道	大阪駅⇒(JR 新快速 61分)⇒姫路駅
		三宮駅⇒(JR 新快速 40分)⇒姫路駅
		東京駅⇒(新幹線のぞみ 185分)⇒姫路駅
新大阪駅⇒(新幹線のぞみ 30分)⇒姫路駅		
	高速道路	梅田⇒(阪神・中国・山陽道 60分)⇒山陽姫路東
	高速バス	関西空港第1ターミナル⇒(2時間10分)⇒姫路駅前
明石市	鉄道	大阪駅⇒(JR 新快速 35分)⇒明石駅
		三宮駅⇒(JR 新快速 15分)⇒明石駅
		東京駅⇒(新幹線ひかり 204分)⇒西明石駅
	飛行機	羽田⇒(飛行機 75分)⇒神戸空港⇒(ポートライナー 18分)⇒三宮駅⇒(JR 新快速 15分)⇒明石駅
	高速バス	東京駅⇒(10時間)⇒三宮駅⇒(JR 新快速 15分)⇒明石駅
	高速道路	大阪(中之島西)⇒(阪神高速神戸線 50分)⇒明石(大蔵谷)
淡路市	高速バス	三宮駅⇒(49分)⇒津名港
		関西空港第1ターミナル⇒(108分)⇒津名一宮
	高速道路	大阪(中之島西)⇒(阪神高速神戸線・神戸淡路鳴門道 55分)⇒淡路
洲本市	高速バス	三宮駅⇒(86分)⇒洲本高速バスセンター
		関西空港第1ターミナル⇒(117分)⇒洲本 IC
	高速道路	徳島⇒(84分)⇒洲本高速バスセンター
	高速道路	大阪(中之島西)⇒(阪神高速神戸線・神戸淡路鳴門道 82分)⇒洲本
南あわじ市	高速バス	三宮駅⇒(93分)福良
		関西空港第1ターミナル⇒(125分)⇒志知
	高速道路	徳島⇒(50分)⇒淡路島南 IC
	高速道路	大阪(中之島西)⇒(阪神高速・神戸淡路鳴門道 96分)⇒淡路島南 IC

(別添) 様式 1

② 隣接空港乗降客数(2019年統計 全国空港乗降客数一覧)

空港	関西国際空港	国際線 24,811,846 人、国内線 6,984,530 人
	大阪国際空港	国内線 16,503,901 人
	神戸空港	国際線 49 人、国内線 3,362,671 人
	徳島空港	国際線 8,493 人、国内線 1,210,359 人
	高松空港	国際線 336,196 人、国内線 1,814,286 人

2. 域内交通

① 鉄道

新幹線	山陽新幹線
在来線	西日本旅客鉄道(株)、山陽電気鉄道(株)

② バス

姫路市	神姫バス(株)、姫路市コミュニティバス
明石市	神姫バス(株)、山陽バス(株)、明石市コミュニティバス
淡路市	淡路交通(株)、淡路市コミュニティバス
洲本市	淡路交通(株)、洲本市コミュニティバス
南あわじ市	淡路交通(株)、南あわじ市コミュニティバス

③ 航路

姫路港～家島	高速いえしま(姫路港～家島)、高福ライナー(姫路港～家島)、坊勢汽船(姫路港～男鹿島～坊勢島～西島)、輝観光(姫路港～坊勢島～西島) (姫路港・家島 30～35分)
明石港～岩屋港	(株)淡路ジェノバライン(13分)1日28往復

【外国人観光客への対応】

1. 消費税免税店の兵庫県内店舗数(2019年10月1日現在)

兵庫県	1,693
域内	-

2. JNTO 認定外国人観光案内所(2017年2月現在)

カテゴリー	3	2	1	P	計
兵庫県内	2	2	15	1	20

3. 兵庫県による外国人観光客受入環境整備

兵庫県とひょうごツーリズム協会が、外国人受入セミナーや外国人観光客受入基盤整備事業を実施。

3. 各種データ等の継続的な収集・分析

収集するデータ	収集の目的	収集方法
兵庫県観光客動態調査	淡路島への観光入込数を把握し、今後の観光戦略を検討。	兵庫県が実施している調査を活用。
海上輸送旅客アンケート	海上移動ルートを選択した観光客のニーズを把握する。	自主事業で、乗船者にアンケート調査を実施する。

4. 戦略

(1) 地域における観光を取り巻く背景

※地域経済、社会等の状況を踏まえた観光地域づくりの背景

淡路島で考えると、鳴門や四国への通過点ではなく、滞在宿泊を誘引するための素材開発が必要ではないかと考えます。食材も豊富でも有り自然も素晴らしいので「地域ブランド力の強化」・「観光地域づくり」が必要ではないか。ただ、個々の力だけではどうしようないので行政と一体となり取組まないと観光地域づくり法人（DMO）だけの力では淡路島の活性化は厳しい。

(2) 地域の強みと弱み

	好影響	悪影響
内部環境	強み (Strengths) ・自地域で積極的に活用できる強みは何か？ <ul style="list-style-type: none"> ● 世界遺産・国宝の姫路城 ● 日本遺産「国生みの島・淡路島」 ● 瀬戸内海の美しい自然 ● 世界最長の吊り橋である明石海峡大橋 ● 世界最大の鳴門の渦潮 ● 淡路島牛・水産資源等の美味しい食材 ● 淡路島の和歌の道 ● 洲本温泉等の温泉施設 高速道路網の充実	弱み (Weaknesses) ・自地域で改善を必要とする弱みは何か？ <ul style="list-style-type: none"> ● 大阪・京都に比較して認知度の不足 ● 外国人観光客の受入環境の整備 ● 淡路島島内の二次交通網の不足 着地型観光商品の不足
外部環境	機会 (Opportunity) ・自地域にとって追い風となる要素は何か？ <ul style="list-style-type: none"> ● 関西空港を利用する外国人訪日観光客の増大 ● 訪日外国人観光客の関西圏の人気、訪日リピーター観光客の新しい観光地需要 	脅威 (Threat) ・自地域にとって逆風となる要素は何か？ <ul style="list-style-type: none"> ● 他地域との観光客誘致競争 ● 冬季荒天による海上輸送の困難 高齢化人口減少に伴う国内旅行者の減少

(別添) 様式 1

<ul style="list-style-type: none">● 政府の広域周遊ルート「せとうち海の道」の指定●クルージングや船旅への需要	
---	--

※上記に加え、PEST分析等の他のマーケティング分析手法を用いて分析を行っている場合は、その内容を記入（様式自由）。

(3) ターゲット

○第1ターゲット層 関西空港を利用する訪日外国人観光客(リピーター市場)
○選定の理由 ○取組方針
<ul style="list-style-type: none">● 関西圏への東アジア、東南アジアからの訪日外国人観光客が急増しており、リピーター市場では関西圏の新たな観光地を求める傾向にあることからターゲットとする。● 兵庫県南部の瀬戸内海沿岸部・淡路島での体系的な受入環境整備に取り組む。 豪州・欧州・米国からの訪日外国人観光客は、長期滞在志向であることから、瀬戸内海でのクルージング滞在型商品の開発を進める。
○ターゲット層
● 船旅・クルージングを求める国内旅行者
○選定の理由 ○取組方針
● 船を利用した瀬戸内海観光への需要があることから、魅力的な商品開発に取り組む。

(4) 観光地域づくりのコンセプト

①コンセプト	東瀬戸内海の魅力的な船旅～大阪湾・播磨灘 Attractive voyage of the east Seto Inland Sea ～Osaka Bay & Harima Sea
②コンセプトの考え方	<ul style="list-style-type: none">● 関西圏の沿海部である淡路島を中心とする東瀬戸内海は、訪日外国人にとっても、国内旅行者にとっても新たな観光資源である。● 東瀬戸内海は、かつて、四国と大阪を結ぶ多くの航路があり、人と文化が行きかう海の道だった。 豊かな食と歴史と文化が残る東瀬戸内海の船旅は魅力的なルートとなる。

5. 関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

項目	概要
戦略の多様な関係者との共有 ※頻度が分かるよう記入すること。	<ul style="list-style-type: none">● DMO が行う戦略・事業との連絡調整を図るために、兵庫県、姫路市、明石市、淡路島 3 市との「連絡調整会議」を DMO とは別に設置し、行政が進める観光政策との調整を図る。● DMO としては、理事会、テーマ別部会において、事業企画を検討し、民間事業者がプレイヤーとして、事業展開を図る。
観光客に提供するサービスについて、維持・向上・評価する仕組みや体制の構築	<ul style="list-style-type: none">● 宿泊施設については、国の観光品質基準である「SAKURA QUALITY」の導入について検討を進める。● 兵庫県が実施する「外国人受入セミナー」と「外国人観光客受入基盤整備事業」に積極的に参画し、受入環境の整備を進める。● 専門家を交えたサービス評価●●●● に関する部会の設置をめざす。
観光客に対する地域一体となった戦略に基づく一元的な情報発信・プロモーション	<ul style="list-style-type: none">● 兵庫県、姫路市・明石市と各市観光協会、淡路島 3 市と淡路島観光協会と連携し、効果的なプロモーションを展開する。● 瀬戸内海の船・港・宿・観光地に関する総合的な観光アプリを開発する。

※各取組について、出来る限り具体的に記入すること。

6. KPI (実績・目標)

※戦略や個別の取組を定期的に確認・改善するため、少なくとも今後3年間における明確な数値目標を記入すること。

※既に指標となりうる数値目標を設定している場合には、最大で過去3年間の実績も記入すること。

(1) 必須KPI

指標項目		2017	2018	2019	2020	2021	2022
		(H29) 年度	(H30) 年度	(R1) 年度	(R2) 年度	(R3) 年度	(R4) 年度
●旅行消費額 (百万円)	目標	5.0 (0)	5.0 (0)	5.0 (0)	10.0 (0)	11.0 (1.0)	12.0 (1.5)
	実績	0 (0)	3.55 (0)	9.9 (0)	0 (0)	()	()
●延べ宿泊者数 (千人)	目標	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	実績	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	()	()
●来訪者満足度 (%)	目標	80 (50)	80 (50)	80 (50)	80 (0)	80 ()	80 ()
	実績	0 (0)	70 (0)	70 (0)	0 (0)	()	()
●リピーター率 (%)	目標	30 (0)	30 (0)	30 (0)	30 (0)	30 (0)	30 ()
	実績	0 (0)	30 (0)	30 (0)	0 (0)	(0)	()

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】

※KPIとして設定する項目や年次及び目標数値に関して、その検討のプロセスや考え方を項目ごとに出来る限り具体的に記入すること。

.....

【設定にあたっての考え方】

●旅行消費額

日帰りツアーなので、一人当たりの消費額は少なくなる。

●延べ宿泊者数

日帰りツアーなので、宿泊者数は含んでいない。

●来訪者満足度

ツアー解散時に記入して頂くアンケート調査では、高評価を頂けている。

●リピーター率

過去の参加者が別の方にツアーの良さを伝えてくださり、引き続き参加して下さる事も多い。

(2) その他の目標 **メディア回数以外、空白とさせて頂いております。**

指標項目		2017 (H29) 年 度	2018 (H30) 年 度	2019 (R1) 年度	2020 (R2) 年度	2021 (R3) 年度	2022 (R4) 年度
● (例) 住民満足度 (%)	目標	()	()	()	()	()	()
	実績	()	()	()	()	()	()
● (例) 宿泊施設の稼働率 (%)	目標	()	()	()	()	()	()
	実績	()	()	()	()	()	()
● (例) ワンストップ窓口での宿泊予約数 (件)	目標	()	()	()	()	()	()
	実績	()	()	()	()	()	()
● (例) メディア掲載回数 (回)	目標	5 (0)	5 (0)	5 (0)	5 (0)	5 ()	5 ()
	実績	0 ()	3 ()	3 ()	() ()	() ()	() ()
●	目標	()	()	()	()	()	()
	実績	()	()	()	()	()	()

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

※各指標項目の単位を記入すること。

指標項目及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】

※KPIとして設定する項目や年次及び目標数値に関して、その検討のプロセスや考え方を項目ごとに出来る限り具体的に記入すること。

.....

【設定にあたっての考え方】

● (例) 宿泊施設の稼働率

.....

● (例) ワンストップ窓口での宿泊予約数

.....

● (例) メディア掲載回数

ツアーの募集を掲載する。.....

7. 活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

※少なくとも今後3年間について、計画年度毎に(1)収入、(2)支出を記入すること。

※現に活動している法人にあっては、過去3年間の実績も記入すること。

(1) 収入

年(年度)	総収入(円)	内訳
2017(H29)年度	100,000(円)	(内訳の区分例) ※内訳が明確になるように記入すること。 【国からの補助金】 【都道府県からの補助金】 【市町村からの補助金】 【公物管理受託】 【収益事業】 【会費】 【特定財源(宿泊税、入湯税、負担金等)】 等 【民間企業からの寄附】 100,000円
2018(H30)年度	3,549,950(円)	【国からの補助金】 【都道府県からの補助金】 2,130,000円 【市町村からの補助金】 【公物管理受託】 【収益事業】 1,319,950円 【会費】 【特定財源(宿泊税、入湯税、負担金等)】 等 【民間企業からの寄附】 100,000円
2019(R1)年度	5,817,650(円)	【国からの補助金】 【都道府県からの補助金】 2,000,000円 【市町村からの補助金】 【公物管理受託】 【収益事業】 1,417,650円 【会費】 【特定財源(宿泊税、入湯税、負担金等)】 等 【民間企業からの寄附】 2,400,000円
2020(R2)年度	2,000,000(円)	【国からの補助金】 【都道府県からの補助金】 2,000,000円 【市町村からの補助金】 【公物管理受託】 【収益事業】 【会費】 【特定財源(宿泊税、入湯税、負担金等)】 等 【民間企業からの寄附】
2021(R3)年度	2,000,000(円)	【国からの補助金】 【都道府県からの補助金】 2,000,000円 【市町村からの補助金】 【公物管理受託】

(別添) 様式 1

		【収益事業】 【会費】 【特定財源（宿泊税、入湯税、負担金等）】 等 【民間企業からの寄附】 2,400,000 円
2022 (R4) 年度	2,000,000 (円)	【国からの補助金】 【都道府県からの補助金】 2,000,000 円 【市町村からの補助金】 【公物管理受託】 【収益事業】 【会費】 【特定財源（宿泊税、入湯税、負担金等）】 等 【民間企業からの寄附】

(2) 支出

年(年度)	総支出(円)	内訳
2017 (H29) 年度	574,666 (円)	(内訳の区分例) 【一般管理費・税金】 574,666 円 【情報発信・プロモーション】 ※可能であれば国内外の割合を記載 【受入環境整備等の着地整備】 【コンテンツ開発（観光資源の磨き上げ）】 【マーケティング（市場調査、ブランド戦略等）】 【観光イベントの開催費】 等
2018 (H30) 年度	2,665,519 (円)	(内訳の区分例) 【一般管理費・税金】 557,359 円 【情報発信・プロモーション】 ※可能であれば国内外の割合を記載 【受入環境整備等の着地整備】 1,157,760 円 【コンテンツ開発（観光資源の磨き上げ）】 【マーケティング（市場調査、ブランド戦略等）】 950,400 円 【観光イベントの開催費】 等
2019 (R1) 年度	5,290,434 (円)	(内訳の区分例) 【一般管理費・税金】 2,190,434 円 【情報発信・プロモーション】 ※可能であれば国内外の割合を記載 【受入環境整備等の着地整備】 3,100,000 円 【コンテンツ開発（観光資源の磨き上げ）】 【マーケティング（市場調査、ブランド戦略等）】 【観光イベントの開催費】 等
2020 (R2) 年度	1,400,000 (円)	(内訳の区分例) 【一般管理費・税金】 600,000 円 【情報発信・プロモーション】 ※可能であれば国内外の割合を記載 【受入環境整備等の着地整備】 800,000 円 【コンテンツ開発（観光資源の磨き上げ）】

(別添) 様式 1

		【マーケティング（市場調査、ブランド戦略等）】 【観光イベントの開催費】 等
2021（R3）年 度	2,700,000（円）	（内訳の区分例） 【一般管理費・税金】600,000円 【情報発信・プロモーション】 ※可能であれば国内外の割合を記載 【受入環境整備等の着地整備】2,100,000円 【コンテンツ開発（観光資源の磨き上げ）】 【マーケティング（市場調査、ブランド戦略等）】 【観光イベントの開催費】 等
2022（R4）年 度	2,700,000（円）	（内訳の区分例） 【一般管理費・税金】600,000円 【情報発信・プロモーション】 ※可能であれば国内外の割合を記載 【受入環境整備等の着地整備】2,100,000円 【コンテンツ開発（観光資源の磨き上げ）】 【マーケティング（市場調査、ブランド戦略等）】 【観光イベントの開催費】 等

(3) 自律的・継続的な活動に向けた運営資金確保の取組・方針

区域を構成する地方公共団体における宿泊税の導入、着地型旅行商品の造成・販売等の取組・方針を記載

- ・島めぐりクルーズ事業による収入
- ・県市の受託事業の検討健闘
- ・国県市の補助金の検討

8. 観光地域づくり法人形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

兵庫県、姫路市、明石市、淡路市、洲本市、南あわじ市は、一般社団法人 瀬戸内島めぐり協会が当該地域における地域連携DMOの候補法人に登録申請することを適当と認めます。

9. 記入担当者連絡先

担当者氏名	絹川 敏浩
担当部署名（役職）	一般社団法人 瀬戸内海島めぐり協会 監事
郵便番号	673-0892
所在地	兵庫県淡路市浅野南 156 番地 10
電話番号（直通）	06-6374-3328 携帯電話 070-1259-9229
F A X 番号	06-6372-1605
E - m a i l	info@sca.or.jp

10. 関係する都道府県・市町村担当者連絡先

都道府県・市町村名	兵庫県
担当者氏名	山北 貴子
担当部署名 (役職)	産業労働部観光交流課 (課長)
郵便番号	650-0011
所在地	神戸市中央区下山手通 5 丁目 10 番 1 号
電話番号 (直通)	078-362-3696
F A X 番号	078-362-4275
E - m a i l	takako_yamakita@pref.hyogo.lg.jp

都道府県・市町村名	兵庫県姫路市
担当者氏名	松本 晃一
担当部署名 (役職)	観光スポーツ局観光文化部観光推進課 (主任)
郵便番号	670-0955
所在地	姫路市安田四丁目 1 番地
電話番号 (直通)	079-221-2116
F A X 番号	079-221-2101
E - m a i l	mice@city.himeji.lg.jp

都道府県・市町村名	兵庫県明石市
担当者氏名	田中 浩志
担当部署名 (役職)	産業振興室産業政策課 (課長)
郵便番号	673-0882
所在地	明石市相生町 2 丁目 7 番 12 号
電話番号 (直通)	078-918-5098
F A X 番号	078-918-5126
E - m a i l	tanahiro@city.akashi.lg.jp

都道府県・市町村名	兵庫県淡路市
担当者氏名	正井 祐次
担当部署名 (役職)	産業振興部商工観光課 (課長)
郵便番号	656-2292
所在地	〒656-2292 淡路市生穂新島 8 番地
電話番号 (直通)	0799-64-2542
F A X 番号	0799-64-2530
E - m a i l	awaji_syoukan@city.awaji.lg.jp

(別添) 様式 1

都道府県・市町村名	兵庫県洲本市
担当者氏名	福島 太
担当部署名 (役職)	企画情報部商工観光課 (課長)
郵便番号	656-8686
所在地	洲本市本町 3 丁目 4 番 10 号
電話番号 (直通)	0799-24-7613
F A X 番号	0799-23-0978
E - m a i l	futoshi_fukushima@city.sumoto.lg.jp

都道府県・市町村名	兵庫県南あわじ市
担当者氏名	西岡 義文
担当部署名 (役職)	農商部商工観光課 (課長)
郵便番号	656-0492
所在地	南あわじ市市善光寺 22 番地 1
電話番号 (直通)	0799-43-5221
F A X 番号	0799-43-5321
E - m a i l	shoukou_kankou@city.minamiawaji.hyogo.jp

法人名:一般社団法人 瀬戸内海島めぐり協会
登録区分名:地域連携DMO

(観光地域づくりのコンセプトを記載)

【区域】 兵庫県、姫路市、明石市、洲本市、南あわじ市
 淡路市

【設立日】 平成27年10月15日

【登録日】 平成28年5月31日

【代表者】 吉村 静穂

【マーケティング責任者(CMO)】 堀内 勝彦

【財務責任者(CFO)】 絹川 敏浩

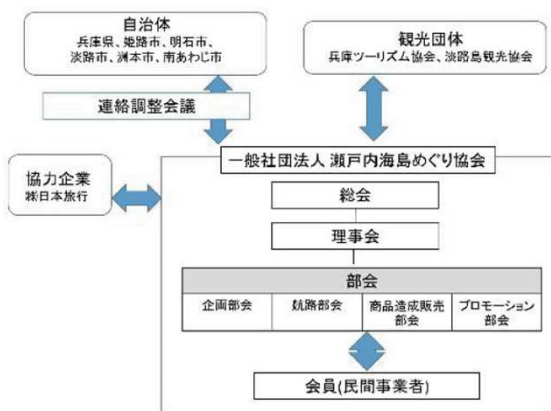
【職員数】 4人

(常勤1人(正職員1人、出向等3人)、非常勤0人)

【連携する主な事業者】

(株)日本旅行、(一社)淡路島観光協会、(一財)淡路島く
 にうみ協会、(株)夢舞台、ジョイポート南淡路(株)、
 (株)ほくだん、伊弉諾神宮、(株)ジェノバ、(株)淡路ジェノバ
 ライン

実施体制



マーケティング・マネジメントする区域



【主な観光資源】 阿波なると空港

合意形成の仕組み

【該当する登録要件】 (該当番号)

【概要】

申請区分 地域連携DMO

登録番号 第20037号

戦略

【主なターゲット】

関西空港を利用する日本人客及び訪日外国人
 観光客(リピーター市場)

【ターゲットの誘客に向けた取組方針】

豪州・欧州・米国からの訪日外国人観光客は、
 長期滞在志向であることから、瀬戸内海でのク
 ルージング滞在型商品の開発を進める。

KPI(実績・目標)

※()内は訪日外国人旅行者に関する数値

項目		2017 (H29) 年度	2018 (H30) 年度	2019 (R1) 年度	2020 (R2) 年度	2021 (R3) 年度	2022 (R3) 年度
旅行 消費額 (百万円)	目標	5.0 (0)	5.0 (0)	5.0 (0)	10.0 (0)	11.0 (1.0)	12.0 (1.5)
	実績	0 (0)	3.55 (0)	9.9 (0)	0 (0)	()	()
延べ宿泊 者数 (千人)	目標	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	実績	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
来訪者 満足度 (%)	目標	80 (50)	80 (50)	80 (50)	80 (0)	80 ()	80 ()
	実績	0 (0)	70 (0)	70 (0)	0 (0)	()	()
リピーター 率 (%)	目標	30 (0)	30 (0)	30 (0)	30 (0)	30 ()	30 ()
	実績	0 (0)	30 (0)	30 (0)	0 (0)	()	()

法人のこれまでの活動実績

【情報発信・プロモーション】

・兵庫県、姫路市、明石市と各市観光協会、淡
 路島3市と淡路島観光協会と連携し、効果的
 なプロモーションを展開する。

【観光資源の磨き上げ】

・どのように手法を用いれば世界及び日本全国
 に各々の観光地の良さを発信するすることが
 できるか。

【受入環境の整備】

各企業・各種団体だけの力だけでは、限界が
 あるので行政の財源を利用していくしかない。

**観光関連事業者と戦略との整合性に
 関する調整・仕組み作り、プロモーション**

兵庫県、姫路市、明石市、淡路島3市との「連絡
 調整会議」を設置して、行政が進める観光政策
 との調整を図る。

活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

【主な収入】 収益事業(兵庫県、補助金等) 約3.4百万円(R1年)

【総支出】 5.3百万円(一般管理費2.2百万円、事業費3.1百万円)

※R2年9月期決算

【自立的・継続的な活動に向けた運営資金確保の取組・方針】

島めぐりクルーズ事業による収入、県市からの受託事業の検討
 国県市の補助金の検討